

エア・リキード、福島県本宮市に「本宮インターチェンジ水素ステーション」を開業、燃料電池商用トラック普及へ

日本エア・リキード合同会社（本社：東京都港区、会長兼CEO イリオン・パク）は、このたび「本宮インターチェンジ水素ステーション（以下、本宮IC水素ステーション）」（福島県本宮市）の建設を完了し、本日開所式を執り行います。

本宮IC水素ステーションは、東北自動車本宮インターチェンジ近くに位置し、東北の玄関口であることを背景に、周辺には物流産業拠点が集積しています。また、Commercial Japan Partnership Technologies株式会社の取り組みにより福島県に燃料電池トラック60台が配備される計画もあり、水素モビリティ需要の高まりが見込まれています。

これらを踏まえ、日本エア・リキードが運営するステーションとしてはこれまでで最大の敷地面積に、2系統化された水素充填設備を備え、大型商用車の利便性に配慮した水素ステーションを福島県中通り地域の中心に建設しました。2系統化された充填設備の導入により、定期メンテナンスを交互に実施することで継続営業が可能です。本年秋ごろには24時間365日営業とする予定です。

本宮IC水素ステーションは、オフサイトの水素供給源からチューブトレーラーで高圧水素を輸送する、いわゆる「オフサイト」タイプで、福島県浪江町の福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）で製造された再生可能エネルギーベースの水素も供給源のひとつとする予定です。本宮IC水素ステーションの建設にあたっては、経済産業省および福島県の補助金制度を活用します。

本宮IC水素ステーションは、伊藤忠商事株式会社、伊藤忠エネクス株式会社との3社合意による協業の一環で、既存の伊藤忠エネクスグループのエネクスフリート株式会社が運営するフリートステーションに併設し、燃料電池トラックユーザーが、充実したサービスを受けられることを可能にしています。

開所式は経済産業省、福島県副知事、本宮市長、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）副理事長、各パートナーの代表者をお迎えして執り行う予定です。

日本エア・リキード会長兼CEO、イリオン・パクのコメント：「エア・リキードは、エネルギー転換と低炭素化への貢献にコミットしており、水素モビリティの推進は大きな柱のひとつです。燃料電池商用車の導入など官民で水素の利用が活発化する福島県において、こうした動きの一翼を担えることを大変うれしく思います。今後もエア・リキードグループの水素事業におけるグローバルな経験を生かしながら、パートナー企業の皆さまと連携し、国、自治体のサポートをいただきながら、日本社会の持続性向上に貢献してまいります」

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部
ww-aljcommunications@airliquide.com
03 - 6414 - 6728

日本におけるエア・リキード

日本エア・リキード合同会社（ALJ）は1907年に創業、100年以上にわたって日本の産業の発展に貢献してきました。ALJは約2,000人の高度な技能を持つ従業員を擁し、エレクトロニクスなどの産業分野の企業に窒素や酸素を供給し、お客様と連携して問題解決や共同研究を行っています。医療においては病院向けのカス供給のほか、在宅医療分野に注力。医療従事者や患者様が必要とする新たな治療機器やIoTを活用したソリューションを開発提供しています。

エア・リキードの水素エネルギー事業

2015年のパリ協定を全面的に支持し、エア・リキードのコミットメントは、気候変動とエネルギー転換の緊急性に対応、また2050年までにカーボンニュートラルを達成することを目標としています。水素のバイオニアとして、エア・リキードは、水素がエネルギー転換の要であることを確信しています。エア・リキードグループは、過去50年間、水素の製造、貯

蔵から流通に至るサプライチェーン全体を掌握する独自の専門技術を開発し、クリーンなエネルギーキャリアとしての水素が、産業利用やクリーンモビリティといった幅広い用途に広く利用される上で貢献しています。エア・リキードは、2035年までに低炭素型水素バリューチェーンに約80億ユーロを投資し、2030年までに合計3GWの電解能力を確保するという目標を掲げています。

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界72カ国で67,800人の従業員を擁し、400万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。酸素、窒素、水素などは、生命、物質、エネルギーに欠かせない必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の核となってきました。

エア・リキードは、未来に備えつつ今日アクションをとることを戦略の中心に据えています。2025年までの戦略プラン「ADVANCE」により、財務的業績目標と財務を超えた取り組みを組み合わせた包括的なパフォーマンスを目指します。新しい市場をとらえ、柔軟さと強さを兼ね備えたビジネスモデル、技術知見に立脚したイノベーション力を生かしてまいります。エア・リキードは気候とエネルギー転換、とりわけ水素エネルギーに寄与するソリューションを開発し、医療、デジタル、ハイテック分野に注力してまいります。

2023年の売上高は275億ユーロを超えました。エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ（A部）に上場されており、CAC40ならびにCAC40 ESG、EURO STOXX 50、FTSE4Good、FTSE4Good Indexの構成銘柄です。

